

広報かとり

合併10周年。それは「広報かとり」の歴史でもあります。「そのとき」の香取市を伝え続けて10年。発行号数は257号となりました。この間、皆さんの記憶に残る広報紙はあったでしょうか？

これまで

10年の歩みの中で伝えてきたこと

市町の垣根を越えて

合併当初は、まずは香取市を知ってもらい交流を進めようと、旧1市3町のおすすりスポーツや行事を1日号の表紙に取り上げました。また、15日号は対談という形で、さまざまな立場の人に地域の魅力を語ってもらいました。

ゆめ半島千葉国体

平成22年、香取市はハンドボール・カヌー・ボートの会場として国体を応援しました。この時発行した「香取市国体特集号」は、皆さんに興味を持ってもらうと各競技の見所を伝えています。

震災後は特別号を発行

平成23年、東日本大震災では香取市も大きな被害を受けました。一日も早い復興を願い、支援を受けるのに必要な

情報を伝えるため、特別号として「震災支援号」「復興支援号」「復興計画・追加支援号」を発行しました。

1日号の表紙がカラーに

平成24年度からロゴやペーじ数が今の形に変わり、毎月1日号の表紙と裏表紙がカラーになりました。新年号などを除いて2色刷りだった頃と比べ、色鮮やかな花火や四季の花、明るく、はつらつとした市民の顔など写真から伝えられる情報量が格段に増えました。

現在の広報かとり

今の紙面になったのは、平成26年5月1日号からです。表紙にスマートフォンなどをかざすとAR動画が視聴できるサービスが始まったのも、この号です。最近では、地域の産業にも光

を当て、紙面と映像で作り手の思いを紹介しています。

広報アンケート

ここに至るまで、「広報かとり」はたびたび表情を変え、最善の形を模索してきました。そこで、今の広報紙が読者にどのように受け止められているのかを知り、目指すべき姿のイメージを持つため、この夏、広報アンケートを行いました。アンケートの回答数は、3万1500部発行している広報紙からするとごく一部ですが、改めて皆さんのご意見・感想に触れる機会となりました。



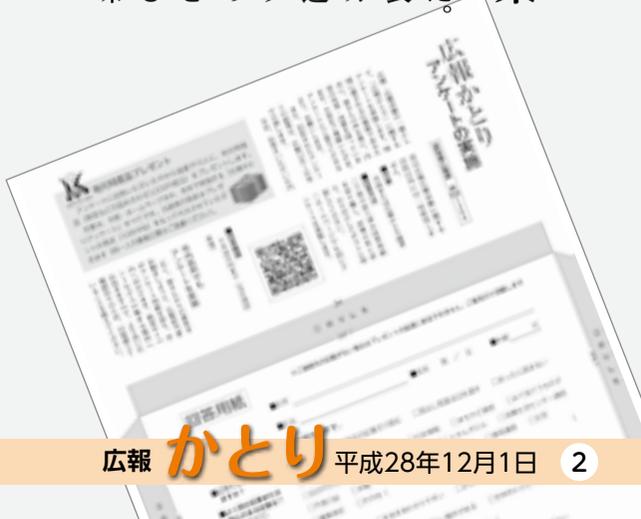
8月に実施した 広報かとりアンケート結果

今回の広報アンケートでは860件の回答を得ました。また、事前に「予想値」を設定し、実際の回答と予想値の差から、職員がどれだけの読者の意向を汲み取れているのかを出してみました。その結果、職員の予想以上に読者が広報かとりをよく読み、内容にも理解を示してく

男女別・回答数		
男	492人	61%
女	310人	39%
計	802人 (匿名58人を除く)	
年代別・回答数		
10代	64人	8%
20代	60人	7%
30代	112人	14%
40代	208人	26%
50代	199人	25%
60代	88人	11%
70代	51人	6%
80代	21人	3%
計	803人 (匿名57人を除く)	

設問	選択肢	回答	予想値	差
どのように読んでいますか？	広報紙全体を読む	62%	30%	▲32%
	特定の記事だけ読む	19%	30%	11%
	見出し程度は目を通す	11%	30%	19%
	めったに読まない	8%	10%	2%
よく読む記事または関心のある記事は？ (複数選択可)	表紙・特集	533票	—	—
	上位行政情報	471票	—	—
	暮らしの情報	388票	—	—
記事の書き方は？	わかりやすい	49%	25%	▲24%
	まあまあわかりやすい	50%	45%	▲5%
	少しわかりにくい	1%	20%	19%
	わかりにくい	0%	10%	10%
文字の大きさは？	ちょうどよい	86%	50%	▲36%
	部分的に読みづらい	12%	35%	23%
	全体的に読みづらい	2%	15%	13%
発行回数は？	今と同じ月2回がよい	75%	80%	5%
	月1回でよい	21%	20%	▲1%
	その他	4%	0%	▲4%
広報紙の大きさは？	今と同じタブロイド判	75%	80%	5%
	A4判	25%	20%	▲5%
表紙などのAR動画は？	よく見る	10%	10%	0%
	たまに見る	12%	15%	3%
	めったに見ない	19%	25%	6%
	見たことがない	59%	50%	▲9%
広報を読んで何か行動を起こしましたか？ (複数選択可)	家族や友人と話題にした	462票	—	—
	催し、講座などに参加	183票	—	—
	窓口で手続きをした	89票	—	—

合併10周年記念
地元特産品プレゼント
当選者10人
▶佐原160代男性・80代男性・80代男性 ▶長岡70代女性 ▶小見川70代男性 ▶高萩60代女性 ▶本矢作10代女性 ▶吉原10代女性 ▶鳥羽10代女性 ▶玉造50代女性



これから

地域を、人を、もっと輝かせる広報紙に

5月にリニューアル



次年度の広報紙について、現在の紙面が抱える課題や広報アンケートで寄せられたご意見、そして市役所全体で取り組んでいる業務改善の観点から総合的に検討してきました。その結果、発行形態を次のように変更する予定です。

- ◆平成29年5月1日号から
- ◆発行回数：月1回
- ◆サイズ：A4判(冊子型)
- ◆ページ数：28ページ〜36ページ程度

アンケートでは発行形態について現状維持が多数でした。しかし、以前からタブロイド判を採用していた地区の回答者が約6割いた中で、4人に1人はA4判と併せて月1回発行の希望があったことと、もともと他地区では保存に適した以前のA4判への要望が多く聞かれていたことから、一定の理解は得られると考えました。何より、市政の動きに加え、市民活動や地域

文化など、心豊かに暮らすための情報を大切にした広報紙へと内容の拡充を図るために制作工程も含む見直しが必要だと判断しました。

■月1回の発行になると

◆お知らせの回数が今より減ります。その分、1日号と15日号に分かれていた紙面を統合し、「健康」や「子育て」など分野・対象によって情報をまとめ、わかりやすい紙面構成にします。

■A4判になると

◆紙面が小さくなる分、めくった時に目に飛び込む文字量が減り、記事が分かりやすくなります。

◆ページ数は記事の増減に合わせて変え、効率のよい紙面にします。

■新しい紙面は、体制は

◆定期的なお知らせは、よりコンパクトに、関心の高い記事、大事な情報はページを割いて丁寧に説明し、メリハリのある紙面にします。

◆業務委託を進める一方、広報の質の向上に努めます。

広報モニター制度を導入

広報活動の充実を図るため、広報モニター制度を始めます。初年度は、地域や年代を考慮した10人ほどの読者にモニターをお願ひします。その後は、より多くの皆さんに参加

いただける制度にしていく予定です。

寄せられた意見や感想は、紙面でも紹介していきます。

地域の話をお寄せください

あまり知られていない地域ならではの行事や、新たに始まった催し・企画など、「これはニュースだ」という情報をお寄せください。

取材に伺うこともありますが、皆さん自身が「記者」となって紹介いただくようなコーナーも企画中です。
編集課 電話(50)1204

広報動画がリニューアル 始まりです

広報アンケートに合わせて、市内の中学生に動画に関するアンケートを行いました。それを受け、AR動画とYouTubeチャンネルは、名称を「カトリミンナ」と変えてリニューアルしました。



「カトリのミンナが映る、ミンナでつくる」
—広報動画カトリミンナ

「カトリミンナ」を見てみよう!

表紙からアプリをダウンロードして画像にカズしてください

読者の声

もっと工夫や改善が必要だと思うところ、掲載してほしい内容など、ご意見の一部を紹介します。(詳細はホームページに掲載)



特定のページ

- ◆表紙に特集記事だけでなく、全体のページの目次があると後で探す時に良い。
- ◆1日号は、表紙が写真ばかりで紙面がもったいない。
- ◆15日号のカトリノ郷物語は、文字が多く目を引かない。
- ◆暮らしの情報ページは、重要な情報や募集要項などが載っているのに、文字が詰まっています。フォントも小さく読みづらい。
- ◆香取遺産は、所在地の地図があると良い。

掲載してほしい内容

- 市政
 - ◆香取市の目指す方向(目標)の進捗状況や目標の達成などを具体的な内容とともに知らせてほしい。
 - ◆若い人が住みやすいまちづくりに、市としてどのように取り組んでいるか?
 - ◆佐原駅周辺の再開発、病院の建設など、市民に分からないところで進んでいるようなので、もっと明らかにしてほしい。
 - ◆閉校した学校の利用計画などを知りたい。
- スポーツ
 - ◆「ブカツー信」だけではなく、香取市で活躍する子どもたちの競技結果などを掲載されてはいかがでしょうか。
- 歴史・文化
 - ◆地区に伝わる小さなお祭りや行事、伝統などを紹介するコーナーがあってもよい。

■環境

◆家庭ごみの分け方やリサイクル意識の向上に役立つ情報を掲載してほしい。

■健康

◆季節ごとの注意情報(熱中症・食中毒・肺炎・インフルエンザなど)があると良い。

■子育て

◆子育て中の大変なママには心がホッとする助言コーナーを!

■地域

◆各地区の会社、事業所、サークル、また、個人などの紹介コーナーがあっても良いのではないかと。

◆もっと小さなイベントも取り上げてほしい。子どもと一緒に出かけの参考にしたい。

◆若い人が頑張っている特集があつたらいい。
◆高齢者の活動や元気な姿をまとめたもの。

全体

■レイアウト

- ◆市民に知らせるべきことを、工夫をして興味と関心を引くように見せてほしい。
- ◆一目で内容の見分けがつくといい。
- ◆情報が漫然としていて読みづらい。ページの表示を紙面下部ではなく新聞のように上部に変更し、見出しをつけてみては。
- ◆過去の記事・未来の記事・市民の利益になる記事の配分を見直して、役に立つ広報に。

■書き方

- ◆毎年、同じ時期に同じ内容なので考慮してほしい。
- ◆文章に使う単語が専門的で分かり難い箇所がある。
- ◆記者が疑問を感じ知りたと思うことを切り口にして。単なるお知らせは読まれません。
- ◆客観的に淡々と、簡潔に物事を伝えることが一番重要。見出しなど凝りすぎない。

■発行回数・ページ数

- ◆月1回発行で、その1回に全力を注いで?
- ◆ページを増やし空間に余裕をもたせて。

■サイズ

◆今の広報は大きすぎて扱い難い。他市の自治体の広報を手にした時、そう感じた。

■カラー

◆表紙のカラーはとても印象がよいので毎回お願いしたい。